

カトー株式会社

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年7月1日～ 2024 年6月30日)



作成日： 2024年9月1日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	1
環境経営方針	1
組織の概要	2
事業・製品の紹介	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価	5～9
次年度の環境経営目標及び環境経営計画	10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	12



(まちなか不動産)

□ごあいさつ

カトー株式会社は創業者の加藤繁三が昭和47年に『世のため人のために尽くしたい』という思いから個人経営の加藤鉄工所を創業しました。その後法人化し、建築・土木工事業、宅地建物取引業を営業品目に加え総合建設業への道を歩んできました。そして本年1月には長野県SDGs推進企業登録制度に登録されました。今後は思いを新たに『人・社会・環境』との調和を図ることで地域から存在意義を認めていただける企業であり続けたいと考えています。時代は令和へと変わりましたがこれからも社員が一丸となって人と自然との調和を大切に、地域との共生を図り、『環境創造企業』として社会の持続的発展に貢献し続けたいと考えています。

[トップへ](#)

環境経営方針

<環境経営理念>

カトー株式会社は山紫水明で大自然に囲まれた長野県の上伊那地域で事業活動を行っている企業として建設事業による環境への影響を考慮し、建築、土木等いろいろな工事を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。また環境経営の継続的改善を推進し、環境負荷の削減に取り組みます。そして従業員が一丸となってエコアクション21に取り組むことにより自然環境を今以上の破壊とならないように努めます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 化学物質の適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した工事に努めます。
7. SDGsの活動に取り組みます。
8. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日：2021年1月15日

代表取締役社長 **加藤英明**

更新日：

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
カトー株式会社
代表取締役 加藤英明
- (2) 所在地
本社・資材倉庫 〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村6458番地
まちなか不動産 〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村3362番地2

- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 会長 加藤 恭一 TEL : 0265-85-4375
担当者 総務課 渡部 洋子 TEL : 0265-85-4375

- (4) 事業内容
総合建設業（土木・建築・大工・とび土工・管）、宅地建物取引業

- (5) 事業の規模
売上高

560 万円

	本社・資材倉庫	まちなか不動産		合計
従業員 名	10 名	2 名		12
延べ床面積 m ²	1977 m ²	28 m ²		2,005

- (6) 事業年度 7 月 1 日 ~ 6 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： カトー株式会社
対象事業所： 本社・資材倉庫
まちなか不動産

□事業や製品(商品)の紹介



工場、倉庫



工場



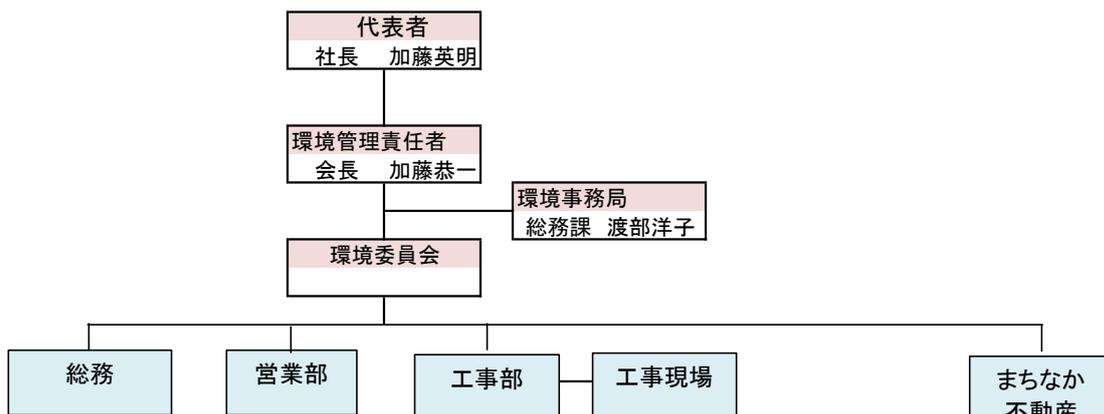
Y様邸



工場

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2021年1月15日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	70,071	60,187	53,999
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	k g	575	1,058	686
産業廃棄物排出量	k g	308,306	443,755	243,699
水使用量	m ³	49	45	47

※二酸化炭素排出係数 0.462 kg-CO₂/kWh 中部電力会社2019年度の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

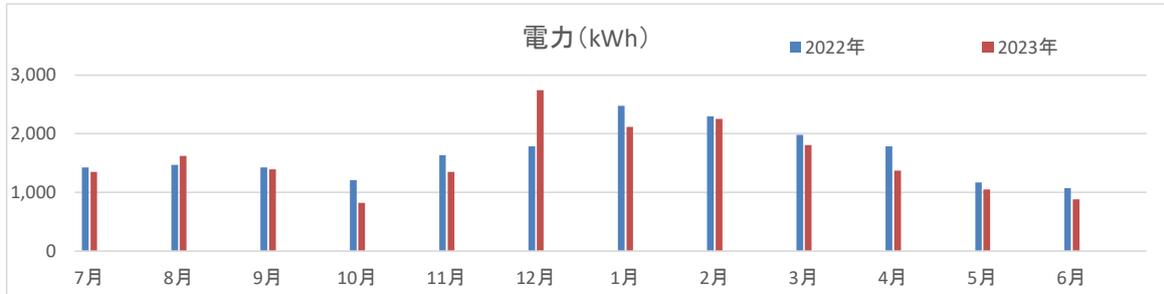
項目	年度	基準値 (基準年)	2023年		評価	2024年 (目標)	2025年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	9,114	9,023	8,670	○	8,932	8,841
	基準年度比	2022年	99%	95%		98%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,684	2,657	3,436	×	2,631	2,604
	基準年度比	2022年	99%	128%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	48,343	47,860	41,878	○	47,376	46,893
	基準年度比	2022年	99%	87%		98%	97%
LPG実績	kg-CO ₂			15			
上記二酸化炭素排出量を	kg-CO ₂	60,142	59,540	53,999		58,939	58,338
一般廃棄物の削減(可燃)	kg	126	125	133	×	123	122
	基準年度比	2022年	99%	105%		98%	97%
混合廃棄物の削減	kg	14,456	14,311	8,888	○	14,167	14,022
	基準年度比	2022年	99%	61%		0.98	0.97
建設副産物の再資源化率の向上	%	100%	100%	100%	○	100%	100%
水道水の削減	m ³	45	45	47	×	44	44
	基準年度比	2022年	99%	104%		98%	97%
化学物質の適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	○	適正管理	適正管理
環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

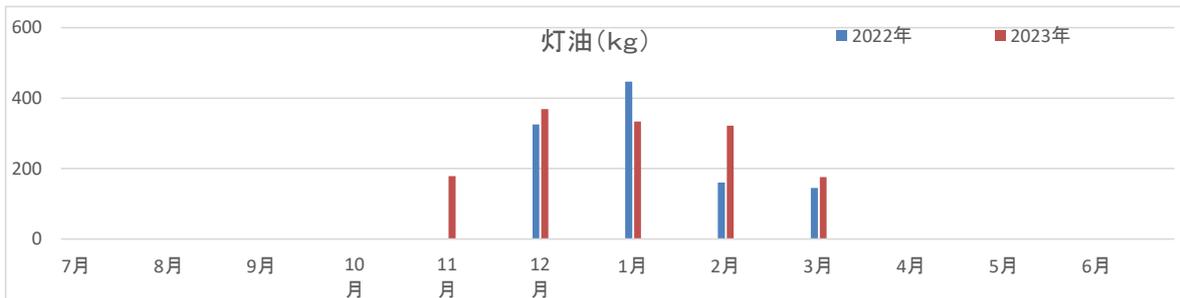
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【取組結果】
・ unnecessary照明は消灯する	○	エアコン等の使用を適正化することで目標が達成できた。
・ OA機器は省電力設定にしている	○	
・ 夜間休日はパソコン、プリンターの主電源を切っている	○	【次年度の取組】
・ 空調の適温化を徹底している	○	事務所改修工事により断熱材使用などで電気料が抑えられる。



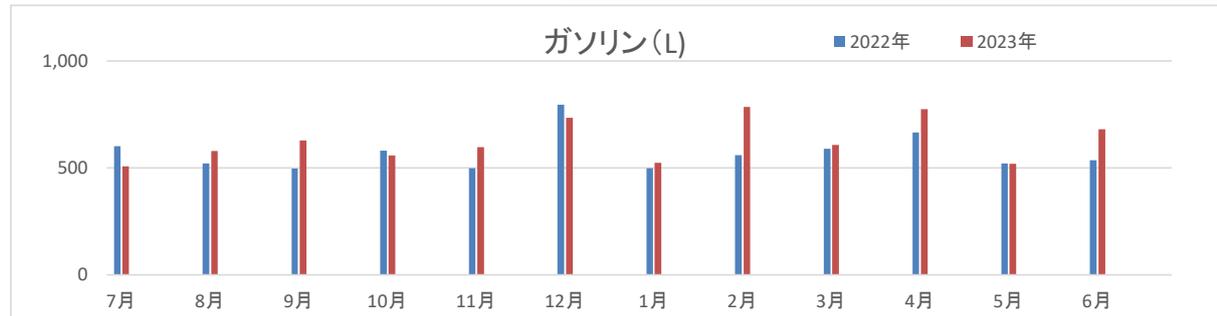
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
2022年	1,427	1,469	1,426	1,205	1,633	1,784	2,477	2,295	1,985	1,786	1,172	1,069	19,728
2023年	1,350	1,623	1,394	822	1,351	2,744	2,113	2,255	1,807	1,374	1,051	883	18,767

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【取組結果】
・ ストープの温度管理	○	12月から1月の現場での使用量が多く目標が達成できなかった。
		【次年度の取組】
		現場での適正使用に努める。

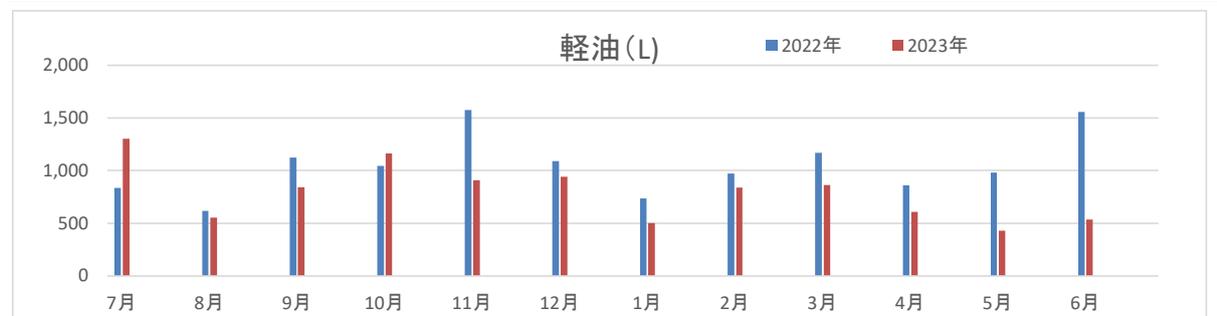


	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
2022年	0	0	0	0	0	326	447	160	145	0	0	0	1,078
2023年	0	0	0	0	179	369	334	322	176	0	0	0	1,380

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【取組結果】
・アイドリングストップ	○	現場での重機の燃料使用量が前半は多かったが後半は比較的少なく、遠距離の現場もなかったため、目標は達成できた。
・急発進急加速運転の禁止	○	
・事前事後の点検整備	○	
	○	
		【次年度の取組】 燃料の適正使用に努める。

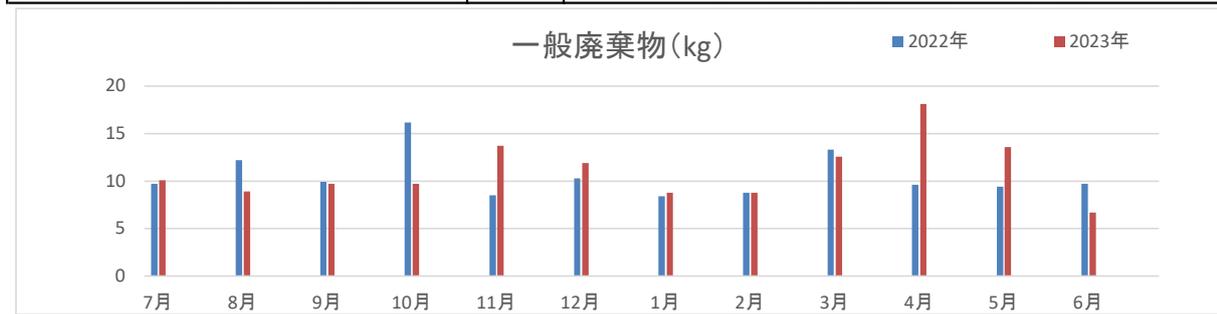


	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
2022年	602	521	497	581	499	796	498	561	590	665	522	537	6,869
2023年	509	581	629	559	598	735	525	786	607	775	520	680	7,503



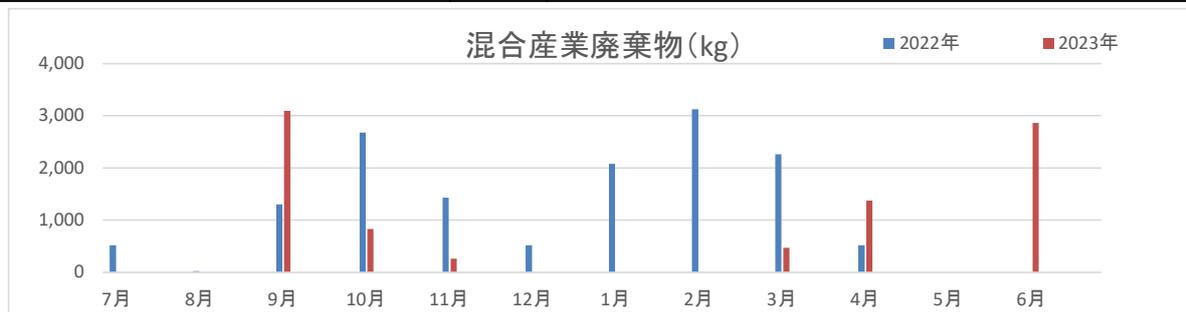
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
2022年	836	616	1,124	1,043	1,577	1,089	736	972	1,170	861	981	1,557	12,561
2023年	1,302	553	843	1,162	908	941	502	837	863	608	430	536	9,485

一般廃棄物の削減(可燃)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【取組結果】
・分別の徹底	○	事務所改修工事で処分書類が多かったため目標は達成できなかった。
・会議資料事務手続書類の簡素化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・ペーパーレス化、文書の電子化	○	
		【次年度の取組】 ペーパーレス等に留意し、文書の電子化を進める。



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
2022年	10	12	10	16	9	10	8	9	13	10	9	10	126
2023年	10	9	10	10	14	12	9	9	13	18	14	7	133

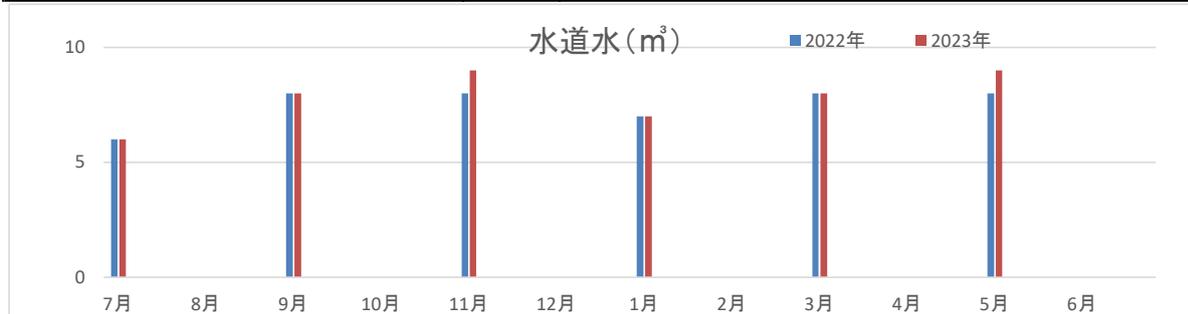
混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【取組結果】
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	啓発活動と廃棄物の分別化に努めたので目標が達成できた。
・素材別ボックスの設置	○	【次年度の取組】
・リサイクル業者の開拓	○	今年度以上に廃棄物の分別化を徹底し減量に努める。



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
2022年	520	26	1,300	2,678	1,430	520	2,080	3,120	2,262	520	0	0	14,456
2023年	0	0	3,090	832	260	0	0	0	468	1,378	0	2,860	8,888

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【取組結果】
・分別の徹底（混合廃棄物としない）	○	リサイクル化100%の目標が達成できた。
・建設発生土の場内使用や再利用を図る	○	【次年度の取組】
		今年以上にリサイクル化100%に取り組む。

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【取組結果】
・節水呼びかけ表示	○	達成できなかった。
・日常的に節水を励行	○	【次年度の取組】
		トイレを替えるため節水できる。



	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
2022年	6	0	8	0	8	0	7	0	8	0	8	0	45
2023年	6	0	8	0	9	0	7	0	8	0	9	0	47

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【取組結果】
・有害性物質の表示の徹底	○	化学物質の使用はなかった。
		【次年度の取組】
		適正管理に努める。
グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・事務用品グリーン購入（コピー用紙PEFC使用）	○	【取組結果】
		グリーン購入ができた。
		【次年度の取組】
		引き続きグリーン購入を推進する。
環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化	○	【取組結果】
・作業ミスの防止	○	施工計画書等に明記し、環境に配慮した工事ができた。
・顧客クレーム削減	○	【次年度の取組】
・廃棄物の再資源化の推進（別項目で実	○	引き続き活動を継続する。

□次年度の環境経営目標及び環境経営計画

項目	目標	取り組み内容
電力による二酸化炭素削減	8,932 kg-CO2 98%	・不必要な照明は消灯する ・OA機器は省電力設定にする ・夜間休日はパソコン、プリンタの主電源を切る ・空調の適温化を徹底する ・本社の改修工事を予定しているので建物の断熱化を検討する ・空調のフィルターの定期的清掃交換など適正に管理する
灯油による二酸化炭素削減	2,631 kg-CO2 98%	・省エネ型のストーブに入れ替えを行う ・ストーブの温度管理の徹底 ・使用していない部屋のストーブは消す
自動車燃料による二酸化炭素削減	47,376 kg-CO2 98%	・アイドリングストップ ・急発進急加速運転の禁止 ・事前事後の点検整備 ・ハイブリッド車の購入を検討する
一般廃棄物の削減(可燃)	123 kg 98%	・コピー用紙の裏面使いを徹底 ・ミスコピーの無いよう手元に注意書きを貼る ・会議資料事務手続き書類の簡素化 ・帳票の見直しによる印刷物の削減 ・分別の徹底
混合廃棄物の削減	14,167 kg 98%	・作業ミスによる廃棄量の削減 ・素材別ボックスの設置 ・圧縮など行い減容する ・廃棄物の見える化
建設副産物の再資源化率の向上	100%	・分別の徹底(混合廃棄物としない) ・建設発生土の場内使用や再利用を図る工夫をする ・リサイクル業者の開拓
水道水の削減	44 m ³ 98%	・節水呼びかけの表示 ・日常的に節水に励行 ・男女トイレの便器を節水型に入れ替えを行う
化学物質の適正管理	—	・適正管理に努める ・有害物質の表示の徹底
グリーン購入の推進	—	・事務用品のグリーン購入に努める
環境に配慮した工事の推進	—	・工事の効率化 ・作業ミスの防止 ・顧客クレームの削減 ・廃棄物の再資源化の推進
SDGsの取組	—	・再生エネルギー使用の促進 ・資源の再生可能を促進した材料使用
空き家の有効活用	—	・大都市圏からの移住を促進 ・空き家バンクの登録・管理・維持

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	判定
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）	○
建設リサイクル法	建設副産物	○
水質汚濁法	油類・有害物質の保管	○
消防法（危険物）	危険物の保管	○
フロン排出抑制法	業務用空調機	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024/5/18（土）15：00～16：00	■実施場所 社内
■参加者： 社長、会長、酒井、伊東、小林、米村、 11名 細田、上村、北原、加藤(恵)、渡部	■実施内容： ・通報訓練、避難訓練
■評価： 地震に伴う火災を想定し訓練を実施した。訓練は手順通りに実施したが特に問題がなかった。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	

緊急事態の想定： 油流出事故の発生	
■実施日： 2024/5/18（土）16：00～17：00	■実施場所 社内
■参加者： 社長、会長、酒井、伊東、小林、米村、 11名 細田、上村、北原、加藤(恵)、渡部	■実施内容： ・流出事故対応、通報訓練、オイル吸着マットの扱
■評価： 河川への油類等の流出を想定し訓練を実施した。訓練は手順通りに実施したが特に問題がなかった。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年7月1日

【前回の指示への取組結果】	
<p>毎日の朝礼において、クレームヒヤリハット体験の報告とともに環境配慮への取り組みを当番が報告している。併せて朝礼の終わりに「今日も環境配慮の意識を高め、省エネ運転に徹し、節電・節水に勤めましょう」と全員で唱和して意識の共有を図っている。</p>	
＜情報＞	＜見直し・指示＞
<p>◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) ・工事等に環境への配慮が強く求められている ・SDGsへの取り組みが求められている。</p>	<p>◇環境経営方針 ・現在は見直しの必要はない。</p>
<p>◇環境経営目標・計画の達成状況 二酸化炭素排出量・産業廃棄物・建設副産物は目標達成出来ました。一般廃棄物は社屋改築工事に伴う片付けの為未達成でした。水使用量については、現場の使用量が増加したため目標は未達成でした。</p>	<p>◇環境経営目標・環境経営計画 ・現在は見直しの必要はない。</p>
<p>◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等はなし ・環境上の問題点等はなし</p>	<p>◇実施体制他 ・現在は見直しの必要はない。</p>
<p>今年度は年明け早々の1月1日に能登半島で大地震が発生し、その後は7月の山形県・秋田県を中心とした豪雨、9月の能登半島豪雨等、地球温暖化が原因と思われる災害が日本各地で頻りに発生しました。また今年の厚さは異常で四季の移ろいが自慢だった日本は春と秋が極端に短くなり二季となってしまう、来年以降もこの傾向が続くといわれています。戦後の日本は本当に豊かになったと感じますが、それと同時に自己中心的な至上主義経済が中心となり結果として大切な環境が破壊されて大きな災害が発生しています。素晴らしい地球を後世に残すことは私たちの義務でありまた使命でもあります。今からでも遅くはないので地球人が一丸となって環境問題を考えることが大切です。人口が82億人を超える地球で、弊社でも社員一人一人が1人／82億人として朝礼や会議を通じて真剣に環境問題に取り組んでいきたいと考えています。</p>	

- | | | |
|-----------|--|-------------------------------|
| 環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 実施体制 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |

□これまでの環境活動の紹介

2017年より地域に必要とされる会社として将来あるべき姿を模索すべくGC10プロジェクト(10年後のグッドカンパニーを目指す)を立ち上げて前者を挙げて活動してゆく中で、環境に配慮しての新規事業を模索しながら、2021年1月に長野県SDGs推進企業登録に第7期の登録を行い、同じく2021年11月にエコアクション21に認証・登録を行いました。その後は従業員の意識改革の一環として朝礼における環境配慮活動の報告、また毎日朝礼の最後に『今日も環境配慮の意識を高め、省エネ運転に徹し、節電節水に努めましょう』をみんなで唱和し、毎週一回の全体会議でも環境配慮について話をしています。現在も子会社を通じて太陽光発電に取り組んでいますが、今後も脱炭素社会の実現を願いながら太陽光発電や省エネの設備投資に取り組んでいきます。

□編集後記

今こうしてエコアクションの環境経営レポートに目を通しながら、来年以降も引き続き少しずつでもよいので社員の皆さんと環境問題を真剣に考えていく必要性を痛感しています。また社内にとどまらず、地域でも環境問題に取り組んでいくことが大切であるとも考えますので、その思いを行動に移したいと思っています。